株式会社コックス 2021年2月期 決算説明会

代表取締役社長 寺脇 栄一 2021年4月9日







2021年2月期 決算概要と重点施策

中期経営計画

2022年2月期 重点施策

2022年2月期 連結業績予想



2021年2月期 決算概要と重点施策





2021年2月期 通期業績(連結)



(単位:百万円、%)

	実 績	業績予想差	前年同期比·差	前年実績
売上高	16,309	▲ 91	95.2	17,130
営業利益	▲ 691	▲221	▲ 95	▲ 595
経常利益	▲ 594	▲ 224	▲ 150	4 444
当期純利益	549	▲30	+1,446	▲ 897

閉店店舗数	11	新規出店数	I	期末店舗数	212
-------	----	-------	---	-------	-----





売上高推移





- ●既存店では緊急事態官言、時短営業等の影響を大きく受けた第1四半期、第4四半期が苦戦。 21年3月度は堅調に推移。
- ●全社では第2四半期、第3四半期が好調に推移。 ファッションマスクの販売やEC限定のアウトドア商品等を拡充したこと、Mask.comを立ち上げ お客さまの需要を創造できたことにより好調に推移。





販売チャネル別売上高実績



店舗は減収となるが、Eコマースは増収

- ●店舗は不採算11店舗の閉鎖を実施。 減収とはなるものの、巣ごもり需要に対応した リラクシングウェア、ライフスタイル雑貨等の取り扱いを拡大。
- ●Eコマースは増収 先行予約販売の強化、OMOの取り組みの拡大、 2020年10月には公式オンラインのリプレイスを実施。

	九工间
店舗	減収
Eコマース	増収



▲リラクシングウェアへの取り組み



▲店舗、Eコマースの相互送客への取り組み (アウトドア関連商品)







▲SDGsの一環としてライフスタイル雑貨 を提案「WOOD WORK LAB.」の始動

売上高実績(Eコマース)



公式オンラインストアを 「TOKYO DESIGN CHANNEL」へとリニューアル

従来のアパレル商品に加えて 新たな生活様式に対応したライフスタイル対応商品を拡大

(単位:百万円、%)

	実績	前年差	前年比
EC売上高	3,063	+1,366	180.5

- 自社サイト売上高が伸長 売上高前年比486.5% ファッションマスク、アウトドア関連商品、 巣ごもり需要対応商品、リラクシング等が牽引
- CMC会員数(メンバーズクラブ会員) 直近稼働会員は78.2%増加









売上高実績(ファッションマスク)



世の中に不足したマスクをいち早く発売。

「日本を元気にしようプロジェクト」を立ち上げ、さまざまな事業者とコラボレーションや マスクをファッションの一部と捉えお気に入りの | 枚を提案できる店舗を展開

ファッションマスク売上高:37億円

▼2020年4月2日より予約発売を開始



▼大人気となった「さらマスク」



▼宝飾業界とコラボレーション



▼企業コラボマスク



▼Mask.com (ファッションマスク専門店)オープン



(要約)連結貸借対照表



(単位:百万円)

資産の部	実 績	前期末差	負債の部	実 績	前期末差
			流動負債	3,940	+1,229
流動資産	7,580 +2,540	固定負債	1,363	▲ 669	
			負債合計	5,304	+560
固定資産	5,117	▲ 2,244	純資産の部	実 績	前期末差
		純資産合計	7,393	▲ 264	
資産合計	12,698	+296	負債·純資産 合 計	12,698	+296



(要約)連結キャッシュ・フロー計算書



(単位:百万円)

	実 績	前年実績	前年差
営業活動によるキャッシュ・フロー	715	▲ 1,454	+2,170
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,920	144	+1,776
財務活動によるキャッシュ・フロー	0	0	0
現金及び現金同等物の期末残高	4,629	1,990	+2,639



中期経営計画

(2022年2月期~2026年2月期)



当社をとりまく環境変化





多くの社会課題が顕在化 変化のスピードが加速

顧客層、顧客の価値観・ライフスタイルの変化

- Z世代、ミレニアル世代が主軸
- コロナ影響によるメリハリ消費の拡大
- 生活様式、行動範囲の変化 等

- 高齢化、単身世帯の増加
 - 健康に対する意識、価値観が変化

テクノロジーの変化

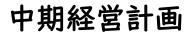
- Society5.0社会としてのデジタル化Eコマース化の加速
- 非接触、キャッシュレス経済の加速 IoT、AIの社会への更なる浸透
- 生産性向上のツールが普及しテレワークが定着 等

気候変動の変化

●地球温暖化、異常気象の恒常化

● 自然災害 等











中期経営計画 目指す姿





ファッションを通じてヘルス&ウェルネスを実現する ライフスタイルテック企業へと更なる進化を図る

お客さまの本質的なゆたかさを実現し 新たな需要を創造する企業へ

いつも、お客さま第一

お客さまのファッションやライフスタイル を彩る、本質的なゆたかさを提供する為いつも「お客さま第一」のスタンスに 立ち続けます

いつも、変化への対応

お客さまのファッションやライフスタイル を彩る、本質的なゆたかさを提供する為いつもお客さまの変化に遅れることなく 自ら変化し続けます

いつも、価値を創造

お客さまのファッションやライフスタイル を彩る、本質的なゆたかさを提供する為 いつもお客さまの必要とする価値を創造 し続けます

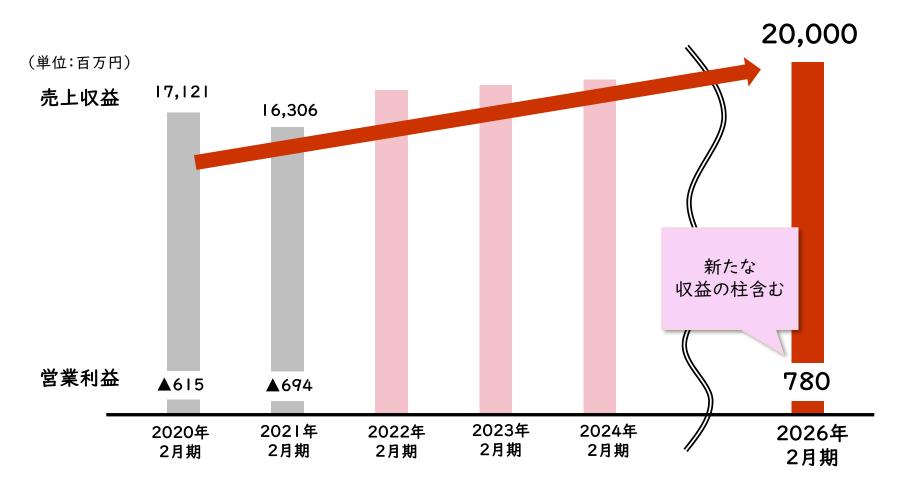








5年度に新たな収益の柱を含む営業利益7.8億円を掲げ 本計画の期間においては、基盤事業の収益力強化と新たな収益源の創出





中期経営計画 成長イメージ②



戦 変 挑

成長への土台づくり

成長へのギアチェンジ

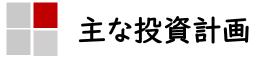
新たな成長の実現

Step 3 Step 2 Step **L** 事業ドメインの 既存事業の 再定義 収益構造改革 新たな収益源の SPA推進 Eコマース事業の 創出を加速 推進·拡大 DX推進による EC事業の推進 新たな収益源の創出 生産性の向上 キャッシュフロー DX推進による コスト構造改革 創出力の強化 生産性の向上

2019年2月期

2022年2月期

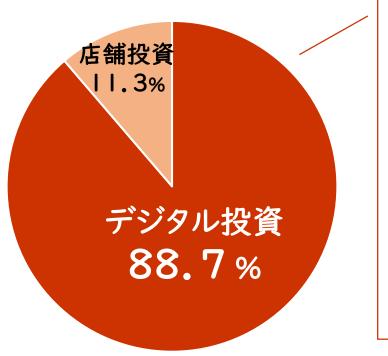
2025年2月期





ライフスタイルテックの推進に向け、店舗投資から デジタル投資にシフトすることでDX推進を加速し、収益構造を改革

主な投資計画(22年2月期~26年2月期)



<戦略的な主な投資施策>

- Eコマース 公式オンラインの利便性の向上 新たなソリューションの導入
- T 店舗オペレーションの効率化 バックオフィスのデジタル化の推進
- 新たな収益源の創出



SDGsへの取り組み①



BE BETTER COX

わたしたちができること



わたしたちの地球にはさまざまな問題が山積みです。 このまま環境の危機を放置しておくと、いずれ地球は住めない星となってしまいます。 わたしたちはファッションテック企業としてお客さまと共によりよい未来を創り、 サスティナブルな事業活動をおこないます



くわたしたちが取り組むろつのテーマン



環境をちゃんと考える





美しい街にするために

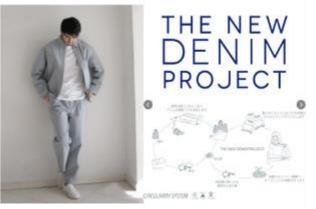




働きやすい未来を考える







▲石灰石を主原料としたライメックスのレジ袋 ▲グアテマラのデニム産業でゴミとして捨てられてきた 裁断くずを主なマテリアルとし、新たな糸・生地・製品 ヘとアップサイクルするプロジェクト







▲森林資源を活用したサスティナブルな商品を 通して"日本の木"を使う機会を提供する 「WOOD WORK LAB.」の始動



SDGsへの取り組み②





1. 誰もが働きやすい 多様性のある環境 イクボスの育成、人権/LGBT研修 テレワーク導入









2. わたしたちの街に 感謝を忘れない

クリーンアップマイタウン 地域イベントとのコラボレーション等





3. じぶんバックで CO2削減に役立ちたい

じぶんバッグの使用推進



等





4. おようふくだって限りある ものだから大切にしたい 環境に配慮した商品展開 リサイクル・リユースの促進





5. ファッションのチカラを わたしたちは信じたい 企業・アーティスト等との コラボレーション





6. 毎日よごれていく 地球をまもりたい

物流における環境問題の緩和 等







2022年2月期 重点施策



基本方針·重点施策





ファッションテック企業から 「ライフスタイルテック企業」への更なる進化を図る

新しい需要を創造しお客さまのライフスタイルを デジタル化することで更なる成長を図る

重点施策 ①

既存事業の収益構造改革

重点施策②

Eコマース事業の推進・拡大

重点施策 ③

新たな収益源の創出

重点施策 ④

DX推進によるコスト構造改革



重点施策①: 既存事業の収益構造改革





ファッションを通じて「ヘルス&ウェルネス」を実現する ミレニアル世代をターゲットにした ライフスタイルブランドへと更なる進化を図る











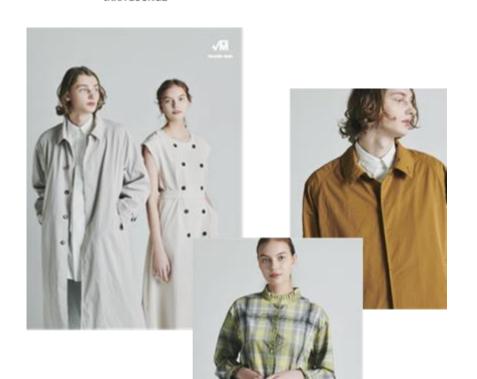


重点施策①: 既存事業の収益構造改革





「MIDDLA」デザイナー安藤大春氏がディレクション ニューノーマルに対応した IKKA LOUNGEの新ライン √M を展開拡大



■ライン名の意味

ルートは「道筋」を意味し、シーズンごとに「M」 から始まるテーマを設けることを意味する。

■コンセプト

Make Brand New Orthodox Garments (真新しい正統な服作り) オーソドックスを軸に、少し先の「今」を感じる日常着。

■価格帯

- ·インナー ¥3,990 ~ ¥5,990
- ・ボトム ¥5,990 ~ ¥7,990
- ·アウター ¥6,990 ~ ¥8,990
- ·コート ¥8.990 ~¥12.000



重点施策②:EC事業の推進·拡大



公式オンラインファースト にて取り組み利益拡大を図る

STAFF STYLING 2021/03/19

■ ソーシャルメディアの強化

・社内インフルエンサーを活用した 「STAFF STYLING」とSNSと連動させた 店舗とECの相互送客を強化

■コックスメンバーズクラブ会員の獲得・育成

- ・プロモーションの拡大
- ・ライフスタイルに対応した商品の拡大
- ・ロイヤルカスタマーの育成及び新規会員の獲得

■One to Oneを継続的に強化

- ・サイト内行動分析を実施し+1点をおススメ。
- ・購入履歴からおススメ商品の提案等を デジタルにて実施



重点施策③:新たな収益源の創出



ヘルス&ウェルネスへの取り組み

スリープテック市場へと参入

当社のアパレル専門店としての技術や経験と、 ミツフジ㈱のウェアラブル技術を融合させた新しい睡眠の形を提案

MITSUFUJI





▲(左)ミツフジ(株)代表取締役社長 三寺 歩氏 寺脇 栄一 (右)弊社代表取締役社長







▲商品サンプル(一例)



重点施策④:DX推進によるコスト構造改革



■店舗オペレーションの効率化RFIDレジの導入

- ・全店レジを入替し電子レシートを導入。
- ・非接触型セミセルフレジを導入し、レジにかかる時間を 最小限にすることで店舗スタッフの接客時間を最大化



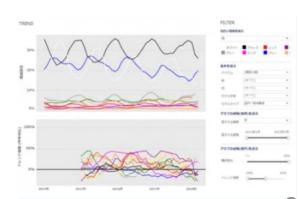
■バックオフィスのデジタル化3D CADの導入

・商品企画と併せてEコマースでの先行予約に活用。 商品サンプル作成、商品撮影などのリードタイムを短縮化



■AI・RPAを活用しバックオフィスを効率化

- ・AIを活用した需要予測
- ・システムの簡素化、利便性の向上(個人情報のデジタル化)
- ・テレワーク、web会議の積極的活用
- ・クラウドシステムの活用による効率化





今後の方向性

ファッションを通じてヘルス&ウェルネスを実現する ライフスタイルテック企業へと更なる進化を図る

お客さまの本質的なゆたかさを実現し 新たな需要を創造する企業へ





2022年2月期 連結業績予想





2022年2月期連結業績予想



(単位:百万円)

	連 結	前年比·差
売上高	18,400	112.8%
営業利益	100	+791
経常利益	120	+714
当期純利益	▲ 50	▲ 599



ご静聴頂き誠にありがとうございました。 ご意見・ご質問につきましては、 下記にお問い合わせ頂きます様お願い致します。

□業績予想に関するご注意

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する事項は、当社が資料作成時点で 入手した情報に基づき判断した見込みであり、その情報の正確性を保証するものではありません。 今後、様々な要因の変化により、実際の業績とは異なる可能性があることをご承知置きください。

□数値表記について

資料内の数値は百万円未満を切り捨て、比率は小数点第2位を四捨五入して表示しております。

<お問い合わせ先>

財経·物流本部長 高橋

TEL: 03-5821-6070 / FAX: 03-5821-1031

http://www.cox-online.co.jp/

